

学習プログラム開発をしよう

シートA (記入用)

(B) グループ メンバー ()

テーマ **青少年教育**

市の概要 **C**

個人の要望

- ・ 自然体験 (D-C以外)
- ・ 子どもの安全確保
- ・ 地域交流

社会の要請

- ・ 家庭教育のサポート
- ・ 地域・学校の連携
- ・ 地域にある自然の活用
- ・ 子どもの自立

地域課題

子どもたちが自然を体験する機会が少ない。

学習目的

自然体験を通じて、人間関係能力を養うことを目的とする。

学習目標

- ・ グループ内で協働作業ができ、課題を解決する能力を身につける。
- ・ 他者と関わることを果敢と実行する。
- ・ 当たり前にあるものに感謝する。
- ・ 自分で料理ができる。 ・ 友達と協力できる。 ・ 友達と仲良くする。

1 学習目的

自然体験を通じて、
人間関係能力を養うことを目的とする。

2 学習目標

- ・グループ内で協働作業をすることで課題を解決する能力を身につける。
- ・他者と関わることの楽しさを実感する。
- ・あつり前にあるものことに感謝する。

3 プログラム名

おいでよ
バレット村

4 対象・定員

小学生 20人 (5人×4班)

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

3,000円

6 事前に必要な知識や準備物

汗拭きシート、保険、おむつ、タオル、雨具、軍手、スマホの持ち込み禁止

7 留意点

雨具の準備
雨天時の対応

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
1回 5月 (土2日)	パレット村 開村式	◎ 仲間づくり ◎ 農家体験 仲間づくりの初めの1歩として 畑でアイスクレイク、ゲームする (田んぼ"うさぎ") 午後は実際に植え付けをし農業体験 をし、夜は農家にホームステイ するに決める	パレット大学 農学部 教養学部 農家 農家	パレット大学 農家	
2回 6月	パレット村 村議会	◎ キャンプに向けた育成報告 ◎ キャンプのプログラム開発をする。 目標... 協働で1つのことに向けて話し合いを つける。	↓	パレット大学	経過中 観察日記をつける
3回 7月 (土2日)	パレット村 キャンプ (パレット村に 住もう!)	◎ 自分も手伝った作物で"メニュー"を 作る ◎ 支援者と協働で"キャンプ"をすること 仲間意識を上げる。 ・自分の力で課題解決能力 ・協働での課題解決能力の向上 42種 ↓ 料理 ↓ 夜は農家と一緒	↓	パレット大学	